

波多野承五郎 はたのり じやうごろう 隨筆家。安政五年十一月生れ、昭和四年九月十六日没（八五六一九元）。號古溪、谿谷生。明治七年慶應義塾を卒業。十五年東京市會議員、次ついでに「郵便報知新聞」、「時事新報」各社記者として、經て外務省に入り、天津領事事務を勤めると、二十八年辭して「朝野新聞」社長兼主筆。のちに三井銀行理事、大正九年衆議院議員。俳句も能くした。

著書に『古溪隨筆』（大正十五年二月二十五日實業之日本社）、『梟の目』第一集（昭和二年一月十日實業之日本社）等。

